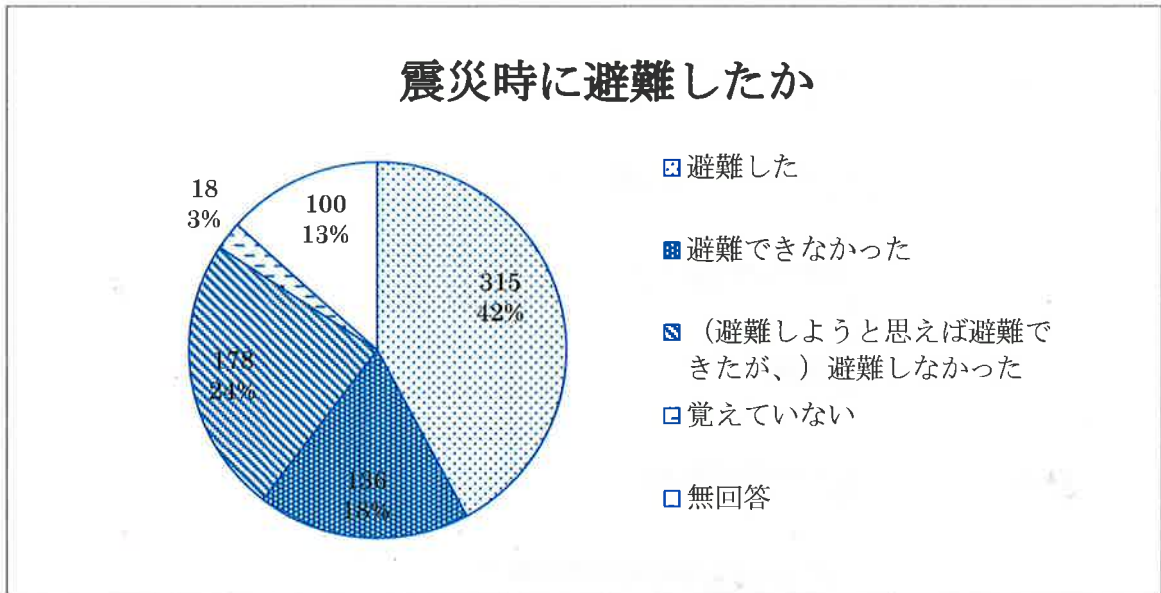


**避難に関する総合的対策の推進に関する
実態調査結果報告書**

平成 25 年

避難支援が必要だったと回答した方 783 人のうち
 青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の 5 県いずれかにいた方 747 人が回答対象

C問2 C問1で「1」を選んだ方に伺います。
 震災が起こった時、避難されましたか。(ひとつだけ○)

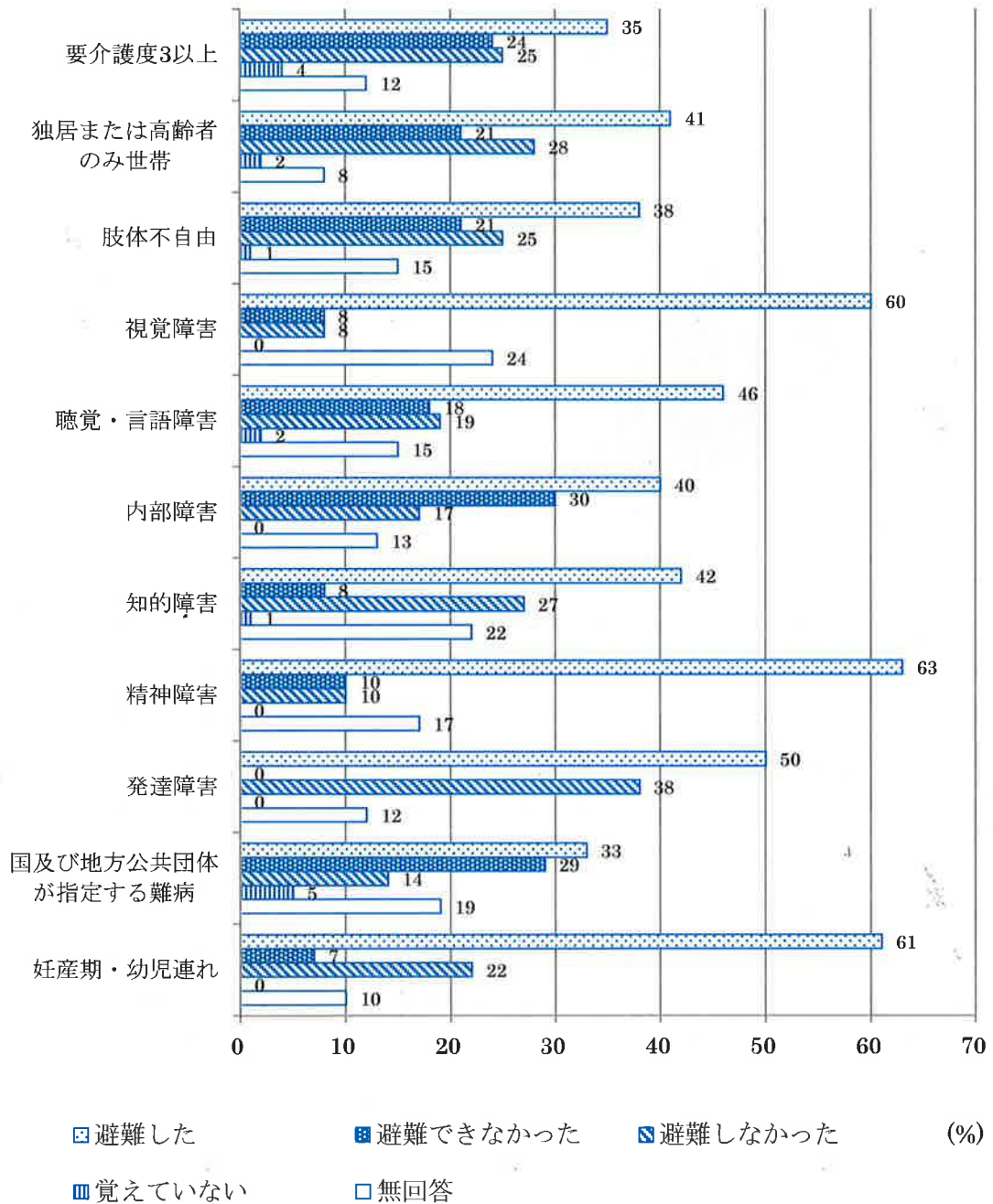


項目	回答数
1 避難した	315
2 避難できなかった	136
3 (避難しようと思えば避難できたが、) 避難しなかった	178
4 覚えていない	18
無回答	100

C問2の集計結果について

震災時、被災地にいた要援護者の方で「避難した」が42%、「避難できなかった」が18%であった。また、震災当時の所在地情報と合わせた結果、「(避難しようと思えば避難できたが、) 避難しなかった」と回答した方の5割は内陸部にある市町村に住んでいることが分かった。

震災時に避難したか (要介護度及び障害種別等による比較)

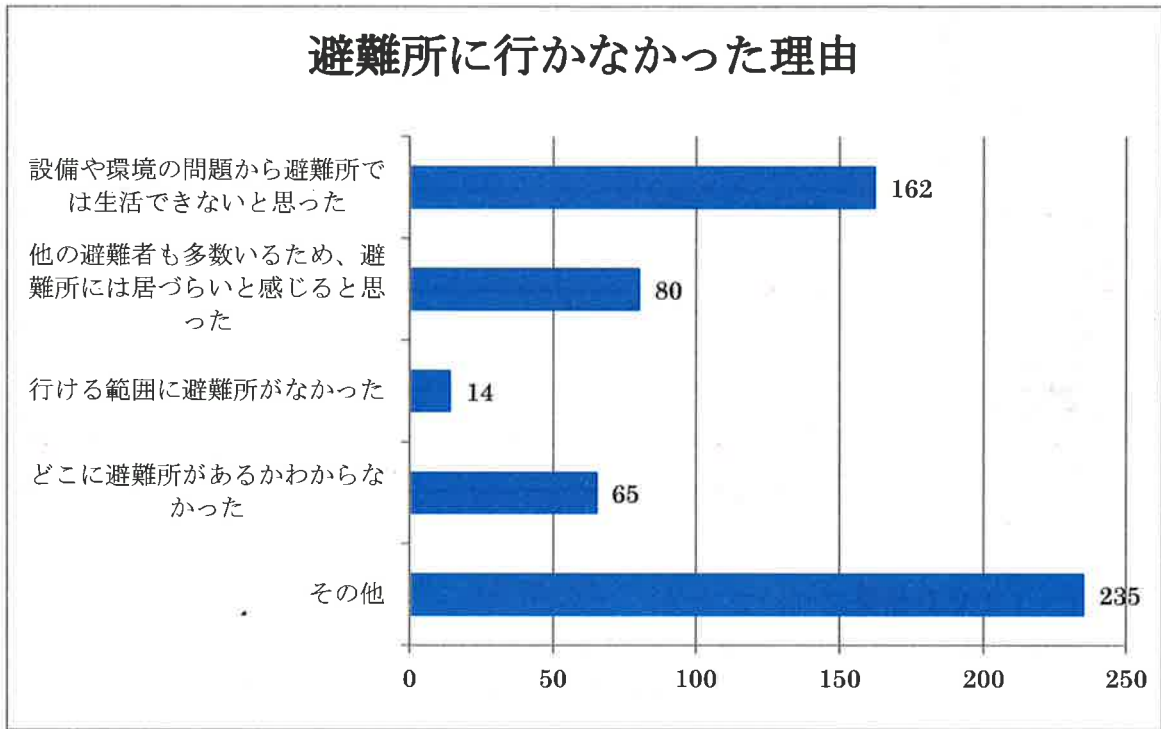


避難支援が必要だったと回答した方 783 人のうち
震災が起こった時、避難所には行っていない方 473 人が回答対象

■震災発生直後の避難行動に関する調査

C問3-1 C問3で「1」を選んだ方に伺います。

避難所に行かなかった理由は何ですか。(いくつでも○)



C問3-1

項目	回答数
1 設備や環境の問題から避難所では生活できないと思った	162
2 他の避難者も多数いるため、避難所には居づらいと感じると思った	80
3 行ける範囲に避難所がなかった	14
4 どこに避難所があるかわからなかった	65
5 その他	235
(1) 自宅で生活できたため	81
(2) 避難所に行く必要がないため	55
(3) 自宅に被害が少なかったため	25
(4) 病院または施設に入院中だったため	22
(5) 親戚や家族データため	11
(6) 障害を持っているため	4
(7) 上記以外の回答	37

C問3-1の集計結果について

「設備や環境の問題から避難所では生活できないと思った」との回答が最も多く、「自宅で生活できたため」、「他の避難者も多数いるため、避難所には居づらいと感じると思った」、「どこに避難所があるかわからなかった」と続いている。